

サポート

NO. 139号

平成29年3月21日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

祝 卒業 ～それぞれの旅立ち～

ようやく春らしい季節を迎え、各特別支援学校では卒業式が行われました。今回は、県立支援学校天王みどり学園の卒業式の様子をご紹介します。

県立支援学校天王みどり学園 卒業式

3月10日、朝から時折粉雪が舞う天気も、卒業生の門出を祝うかのように昼には晴れ渡り、小学部、中学部、高等部あわせて39名の児童生徒が卒業を迎えました。

遠藤邦子校長からの高等部卒業生に向けた式辞では、「天王みどり学園を巣立つ高等部卒業生のみなさん、学校の最上級生として、1年間先頭に立って頑張ってくれました。小学部、中学部、高等部と入学したときは、それぞれ違っていても、卒業するときは18人一緒にみどりの風の中、大空に飛び立とうとしていますね。一人ではできなくても、仲間と一緒にやらることができた作業学習をはじめ、たくさんのことに挑戦しました。感動や喜びを分かち合った日々を忘れずに、これまで支えてくださったたくさんの人に感謝し、明るく元気に希望に向かって歩いていくことを願っています。」と、感謝することの大切さ、チャレンジすることの必要性を述べ、卒業生へエールを送りました。式の終わりには「旅立ちの日に」を全校で合唱し、歌声が総合教育センターの講堂一杯に広がりました。

卒業式後、保護者主催の「卒業を祝う会」が催され、卒業生全員のスライドによる思い出のアルバムでは、小さい頃の写真を見ながら学校生活を振り返り成長を確認し合いました。また、卒業生は、遠藤校長や先生たちからのお祝いの言葉を受けて、新たな旅立ちに胸を膨らませていました。卒業生、保護者、職員が笑顔あふれる温かな会となり、2時間があっという間に流れていきました。

校長式辞

中学部 卒業証書授与

高等部 卒業証書授与

卒業を祝う会

リンゴレンジャー参上！

県立比内支援学校かづの校は、花輪スキー場の麓に位置し、豊かな自然に囲まれた学校です。児童生徒数は10年前は26人でしたが、現在は50人、約2倍に増えました。かづの校の特色ある教育活動に「リンゴレンジャー」があります。発足した3年前は、職員がリンゴレンジャーに扮していたのですが、現在は高等部生活単元学習の中核をなす学習活動となり、演者・演出・大道具・小道具も全部生徒たちが担当しています。

主な活動は、地域の交通安全や防犯などの推進で、どのようにすれば地域の方々に分かりやすく伝わり、意識を高められるかを考えて活動を続けています。

そのような活動が認められ、鹿角警察署長から「鹿角ヨクシ隊」のメンバーに委嘱され3年目になりました。「鹿角ヨクシ隊」は、“鹿角の街を良くしたい”と“鹿角の犯罪を抑止したい”が掛けられたネーミングです。かづの校の他に、交通安全母の会や交通安全協会の方々もヨクシ隊のメンバーとして一緒に活動しています。この3年間のリンゴレンジャーの活動に対して、平成29年1月4日に鹿角警察署長より感謝状が贈呈されました。地域安全活動への地道な貢献が評価されたと自負しています。表彰式に参列した生徒たちからは誇らしげな様子が感じられました。

去年は、新設の文化の杜交流館コモッセで「リンゴレンジャーショー」を開催し、近隣の保育園児150名が見に来てくれました。悪役の「くされりんご団」を見て泣き出す園児もいましたが、みんなで武器「りんご爆弾」を悪役に投げてやっつけ、リンゴレンジャーを救うことができ、大喜びでした。園児一人一人がリンゴレンジャーからお礼のメダルをもらい、その後、記念撮影をしました。感想を聞くと「いかのおすしを教えてくださいました。」や「知らない人に付いていきません。」など、しっかりとショーの趣旨が伝わっていることが実感できました。

今年の会場である花輪小学校では、低学年児童と近隣保育園の園児、関係者合わせて約300名が来場し、リンゴレンジャーショーを盛り上げてくれました。映画仕立てのオープニングやバックの映像、戦いの場面など生徒たちの工夫が観客の心をつかみ、大成功を収めました。おみやげに作った「リンゴレンジャー交通安全ストラップ」も好評で、製作した生徒たちも満足げな表情を浮かべていました。

「また来てね！」とたくさん声を掛けられた生徒たちは、もうすでに次のショーを構想し、園児や小学生が楽しく安全な生活を意識できるように、というコンセプトで動き出しています。演技力の向上を目指して外部の方からの指導もお願いしていく予定です。今後のリンゴレンジャーの活躍をどうぞお楽しみに！

(副校長 菅原 文子)



リンゴレンジャー参上！



感謝状贈呈



リンゴレンジャーショー